

平成28年度

8月例会

岡崎城下家康公夏祭り
「創意挑戦！
新世紀みこし発進！」

日時:8月5日(金)19時00分～20時55分

場所:岡崎城下家康公夏祭り会場

担当委員会:振興委員会

参加者数:97名



【例会内容】

毎年恒例の岡崎夏祭りのみこし列に参加しました。

今年の青年部は創意挑戦がスローガンということで、初めてロボット事業に取り組みました。それもただのロボットではなく、あきん猫型巨大ロボットがトランスフォームするという前例のない課題を自らに課し、それを実現すべく振興委員会として挑戦を始めました。そのための委員会内組織として科学技術庁を発足し、振興委員会以外にも協力者を募ることで、強力な制作陣を作り上げました。

委員長によるラフなアイデアスケッチを図面に起こし、どこを可動させれば変形できるのか、どのような動きなら現実的に可能なのか、山積みの問題を一つずつ解決していきます。

機動性、安全性を確保するため基本素材は段ボールとし、丈夫な骨組みとして軽量鉄骨を使用しました。基本構造は大工が、塗装は板金工が、その他あらゆる作業にメンバーがそれぞれの得意分野を生かして作業を進めました。

一番の課題だったトランスフォーム可動部は科学技術庁長官である布団屋と副長官であるガラス工の涙ぐましい努力により、何度も実験を繰り返し、どうにか動かすことができました。しかし何と言っても大きさが3mもある巨大ロボットが目の前で変形するとなると危険が伴います。繰り返し練習したのですが、あまり何度も変形すると今度は自重で破損してしまいます。縛り師(ロープ屋)によるロープの張り方で安全性を確保しましたが、多少の不安要素を残しながら当日を迎えました。

目を光らせながら悠然と立ち上がる巨大ロボット。コクピットから多彩なロープワークで顔、腕を自在に動かす長官。籠田公園本部前ではコントローラーを手に会長が「トランスフォーム！」と叫びます。

しかし、変形がうまくいかない。

何度も練習した動きが、本番では騒音で声が聞こえず息が合わない。焦りだす科学技術庁。税理士と委員長がマイクパフォーマンスで会場から声援を引き出します。ここで変形ができなければ岡崎が危ないというくらいの切迫した状況で、ついにあきん猫ロボはあきん猫モービルへとトランスフォームを果たしました。

バックファイアを吹き出しながら颯爽と去っていくあきん猫モービル。世界は平和に包まれました。



【委員長所感】 振興委員会 杉浦委員長

青年部の今年のスローガンである「創意挑戦」と、今年の夏祭りのスローガンである「新世紀みこし」。このふたつに沿った神輿はどんなものだろうと委員会メンバーで色々アイデアを出し、最終的には「トランスフォームする、ロボット型のあきん猫～」にしよう！という意見にまとまりました。私の描いた落書きスケッチが実現するなんて、本当に夢のようです。

商工会議所青年部は色々な事業所の集まりです。ガラス屋さん、ふとん屋さん、石屋さん、塗装屋さんなどなど、みんながそれぞれのスキルを持っています。それをフル稼働して制作に取り組みました。

あきん猫～ロボはほぼすべてが段ボールで出来ています。あの大きなあきん猫～の顔は、車のフロントガラスを運ぶときに使う段ボール。メンバーのなかのガラスさんが準備してくれました。設計は大きな作品を作り慣れている石屋さんにお任せしました。そんな風に、色々なメンバーのお仕事も垣間見ることもでき、青年部イコールドリームチームだなあと改めて思いました。

当日は、トランスフォームにすこし手間取ってしまいみなさんをハラハラさせてしまいましたが、沿道のお子さんたちの「あきん猫～がんばれー！」の声に励まされ、カッコよくトランスフォームすることができました。

みんなで協力してひとつのものを作り上げる。なかなか仕事では味わえない感動をあきん猫～ロボに経験させていただきました。ありがとうございました！